



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL <https://www.rasaco.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 桜木 和陽 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,577	△1.0	421	20.6	468	21.7	327	23.5
2023年3月期第1四半期	6,644	△10.1	349	△15.3	385	△19.2	265	△22.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 430百万円(50.1%) 2023年3月期第1四半期 286百万円(△3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	29.30	—
2023年3月期第1四半期	22.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	30,288	20,075	66.3
2023年3月期	31,920	20,100	63.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 20,075百万円 2023年3月期 20,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	29.00	—	39.00	68.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	34.00	—	34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	△4.0	800	△15.8	880	△13.5	620	△7.5	55.33
通期	29,000	△2.2	2,400	△15.9	2,600	△12.9	1,950	△7.8	173.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	11,983,838株	2023年3月期	11,983,838株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	802,252株	2023年3月期	802,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	11,181,586株	2023年3月期1Q	11,626,862株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う行動制限の緩和を機に社会経済活動の正常化が一段と進み、個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きが続いております。しかしながら、ウクライナ情勢等の影響による原材料価格の高騰を背景とした物価高の進行など、企業活動を取り巻く環境は不確実性が高まっております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Resilience” Rasa 2024 ～再生から飛躍へ～」を策定し、グループ・ガバナンスの確立を最重要課題と位置づけ、グループの連携をさらに強固なものとしつつ、更なる飛躍を目指し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主にプラント・設備工事関連が減収となったことを受けて65億77百万円となり、前年同四半期と比べ66百万円(△1.0%)の減収となりました。

利益につきましては、営業利益は4億21百万円となり、前年同四半期と比べ71百万円(20.6%)の増益となりました。経常利益は4億68百万円となり、前年同四半期と比べ83百万円(21.7%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億27百万円となり、前年同四半期と比べ62百万円(23.5%)の増益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、当社取り扱い原料の相場価格上昇に伴い販売価格が上昇したことから、関連部門の売上高は19億77百万円となり、前年同四半期と比べ31百万円(1.6%)の増収となりました。一方、円安の影響による仕入価格の上昇等により、セグメント利益は1億53百万円となり、前年同四半期と比べ4百万円(△2.8%)の減益となりました。

産機・建機関連では、大型ポンプの整備需要の高まりと、民間の安定した設備稼働状況を背景に、各種ポンプ関連は全般的に堅調に推移しました。また、セミシールド掘進機も国内・海外ともに販売が好調に推移し、関連部門の売上高は20億50百万円となり、前年同四半期と比べ4億50百万円(28.1%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は1億51百万円となり、前年同四半期と比べ1億5百万円(230.4%)の増益となりました。

環境設備関連では、民間向け海外機械でポンプ本体及び部品の販売は好調であったものの、水砕関連で主要機器の整備需要が落ち込んだため、関連部門の売上高は2億64百万円となり、前年同四半期と比べ64百万円(△19.6%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント損失が2百万円(前年同四半期は9百万円の利益)となりました。

プラント・設備工事関連では、大型工事の施工総額の減少により、関連部門の売上高は5億58百万円となり、前年同四半期と比べ4億71百万円(△45.8%)の減収となりました。また、工事売上高の減収を主因としてセグメント利益は32百万円となり、前年同四半期と比べ14百万円(△30.5%)の減益となりました。

化成品関連では、半導体などの供給改善がみられ自動車ワイヤーハーネス分野で一時的に受注が増加したものの、建材分野の低迷、電線分野や潤滑油分野の一部ユーザーからの受注減少の影響を受けたことから、関連部門の売上高は16億63百万円となり、前年同四半期と比べ13百万円(△0.8%)の減収となりました。また、販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益は36百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(△3.5%)の減益となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルの満室を維持できたことから、関連部門の売上高は92百万円となり、前年同四半期と比べ0百万円(0.2%)の増収となりました。また、修繕費等が増加したことからセグメント利益は48百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(△3.0%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は302億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億31百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は173億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億43百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で11億10百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で9億78百万円の減少等があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は129億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で93百万円の増加等があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は69億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億43百万円の減少となりました。

これは主に、短期借入金で6億円、未払法人税等で4億41百万円、支払手形及び買掛金で3億13百万円の減少等があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は32億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円の増加となりました。

これは主に、長期借入金で1億31百万円の増加等があったことによるものです。

(純資産)

純資産は200億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円の減少となりました。

これは主に、剰余金の配当で4億54百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益で3億27百万円を計上したことによる増加等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日付の2023年3月期決算短信で公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,532	4,421
受取手形、売掛金及び契約資産	8,939	7,960
電子記録債権	1,695	1,721
商品及び製品	2,621	2,838
未成工事支出金	119	185
原材料及び貯蔵品	8	9
その他	177	214
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,093	17,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,459	4,457
減価償却累計額	△2,836	△2,844
建物及び構築物（純額）	1,623	1,612
機械装置及び運搬具	460	456
減価償却累計額	△433	△426
機械装置及び運搬具（純額）	26	30
土地	6,000	6,000
その他	1,641	1,578
減価償却累計額	△1,591	△1,534
その他（純額）	49	43
有形固定資産合計	7,700	7,686
無形固定資産		
ソフトウェア	183	165
その他	0	0
無形固定資産合計	183	165
投資その他の資産		
投資有価証券	3,479	3,572
退職給付に係る資産	35	34
繰延税金資産	148	108
保険積立金	1,126	1,219
その他	161	158
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,943	5,086
固定資産合計	12,826	12,938
資産合計	31,920	30,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,565	2,252
電子記録債務	1,493	1,514
工事未払金	199	231
短期借入金	2,100	1,500
1年内返済予定の長期借入金	490	285
未払法人税等	597	155
契約負債	139	201
賞与引当金	353	169
工事損失引当金	121	94
その他	607	519
流動負債合計	8,667	6,923
固定負債		
長期借入金	2,414	2,545
繰延税金負債	312	319
退職給付に係る負債	29	15
役員株式給付引当金	177	177
その他	219	231
固定負債合計	3,152	3,289
負債合計	11,820	10,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,837	1,837
利益剰余金	16,689	16,562
自己株式	△702	△702
株主資本合計	19,901	19,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201	248
繰延ヘッジ損益	△2	53
その他の包括利益累計額合計	199	301
純資産合計	20,100	20,075
負債純資産合計	31,920	30,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,644	6,577
売上原価	5,286	5,158
売上総利益	1,358	1,418
販売費及び一般管理費	1,008	997
営業利益	349	421
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	20
持分法による投資利益	26	23
その他	7	9
営業外収益合計	50	53
営業外費用		
支払利息	6	5
保険解約損	5	-
その他	3	1
営業外費用合計	14	6
経常利益	385	468
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	385	468
法人税等	119	141
四半期純利益	265	327
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	265	327

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	265	327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	46
繰延ヘッジ損益	29	55
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	21	102
四半期包括利益	286	430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286	430
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,652	1,263	328	1,030	1,616	—	5,892
アジア	288	188	—	—	51	—	528
その他	4	148	—	—	8	—	160
顧客との契約から 生じる収益	1,946	1,600	328	1,030	1,676	—	6,582
その他の収益	—	—	—	—	—	62	62
外部顧客への売上高	1,946	1,600	328	1,030	1,676	62	6,644
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	30	30
計	1,946	1,600	328	1,030	1,676	92	6,674
セグメント利益	158	45	9	47	38	50	348

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	348
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	349

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,600	1,651	264	558	1,576	—	5,652
アジア	373	187	—	—	66	—	626
その他	3	211	—	—	21	—	235
顧客との契約から 生じる収益	1,977	2,050	264	558	1,663	—	6,514
その他の収益	—	—	—	—	—	62	62
外部顧客への売上高	1,977	2,050	264	558	1,663	62	6,577
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	30	30
計	1,977	2,050	264	558	1,663	92	6,607
セグメント利益 又は損失(△)	153	151	△2	32	36	48	420

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	420
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	421

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記情報(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2024年3月期第1四半期の個別業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,292	10.8	302	41.9	412	△1.9	312	△9.4
2023年3月期第1四半期	3,875	4.9	213	305.8	420	254.5	345	245.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.71	—
2023年3月期第1四半期	29.44	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	19,566	14,833	75.8
2023年3月期	20,905	14,886	71.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 14,833百万円 2023年3月期 14,886百万円